

倉吉市打吹玉川(鳥取県)

(1) 保存地区の概要

地区名	倉吉市打吹玉川
種別	商家町
面積	約9.2ヘクタール
選定年月日	平成10年12月25日(範囲拡大:平成22年12月24日)
特徴	鳥取県の中央にある倉吉は、江戸時代から明治・大正時代にかけて、商工業都市として繁栄した。保存地区は豊かな意匠を持つ町家が建ち並ぶ本町通りと、土蔵群と石橋が連続する玉川沿いからなる。赤褐色の石州瓦の屋根、軒まわりの海老状に曲がった腕木や持送り板、腰格子や繊細な出格子等の意匠に地域的特色があらわれている。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和54年度(1979)	倉吉商家町並保存対策調査
昭和59年度(1984)	倉吉古い町並保存会設立
(~62年度)	玉川沿いの土蔵の修復(22棟)
平成8年度(1996)	倉吉市伝統的建造物群保存地区条例制定
平成10年度(1998)	重要伝統的建造物群保存地区選定
平成11年度(1999)	保存修理・修景事業スタート
平成14年度(2002)	防災計画策定書刊行
平成15年度(2003)	東仲町で火災、14棟全半焼
	倉吉町並み保存会設立
平成18年度(2006)	防災センター「くら用心」整備完成
平成19年度(2007)	町並み保存対策見直し調査
(~21年度)	見直し調査報告書刊行
平成21年度(2009)	全国伝統的建造物群保存地区協議会総会
平成22年度(2010)	重要伝統的建造物群保存地区(範囲拡大)
平成23年度(2011)	天皇皇后両陛下下行幸(全国豊かな海づくり大会)
平成25年度(2013)	防災計画策定報告書刊行
平成28年度(2016)	鳥取県中部地震、全体の約3分の2被災
	災害復旧事業開始、保存対策計画書刊行
平成29年度(2017)	災害復旧事業45件(80棟)実施
平成30年度(2018)	災害復旧事業22件(40棟)実施
平成31年度(2019)	災害復旧事業15件(25棟)実施



(3) 保存地区の保存と整備

- ・選定後21年間の伝統的建造物の保存修理の実績
- ・火災および地震により被災した伝統的建造物の復旧事業
- ・防災センター「くら用心」の整備
- ・伝建事業の補充として、街なみ環境整備事業により修景
- ・設計士、施工業者対象の伝建勉強会の開催

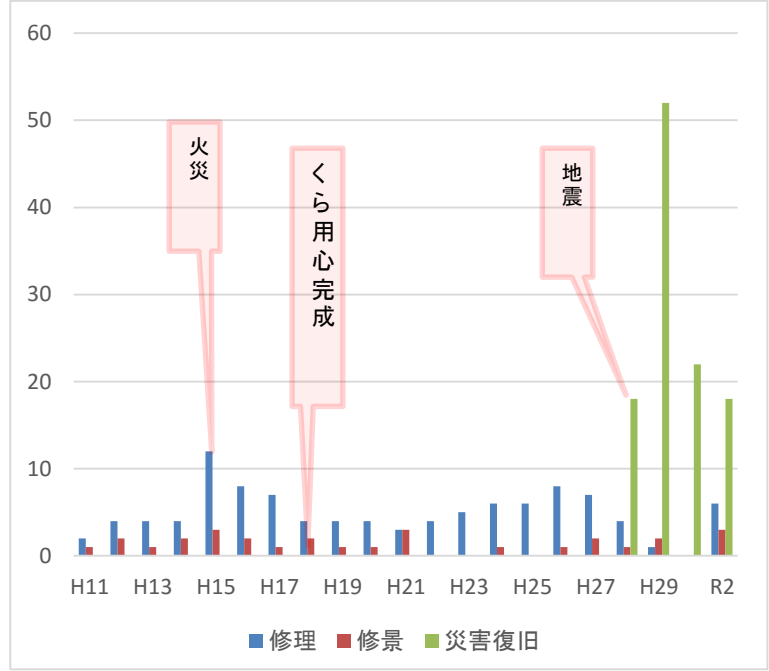
修理



防災センター「くら用心」(教育・防災施設)



建築士対象の「伝建勉強会」

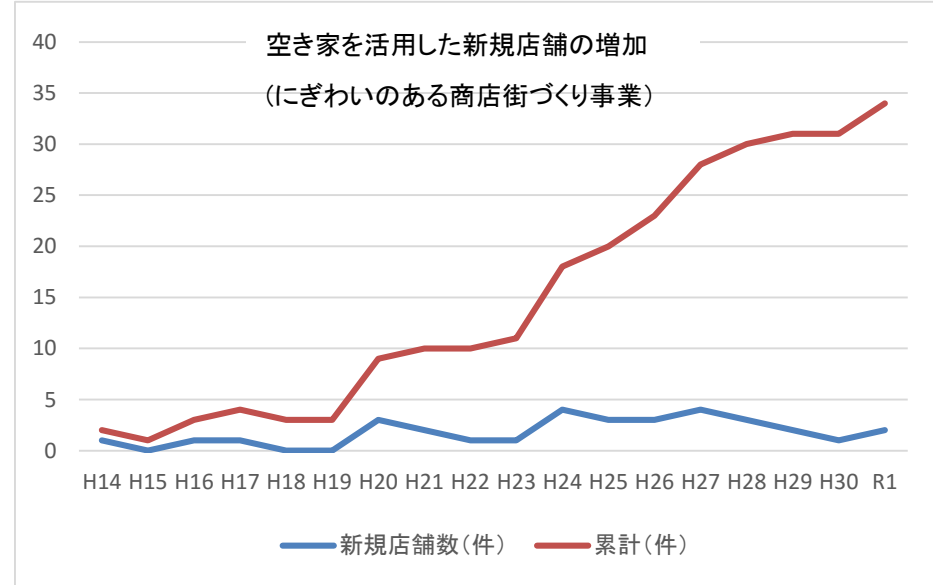


修景



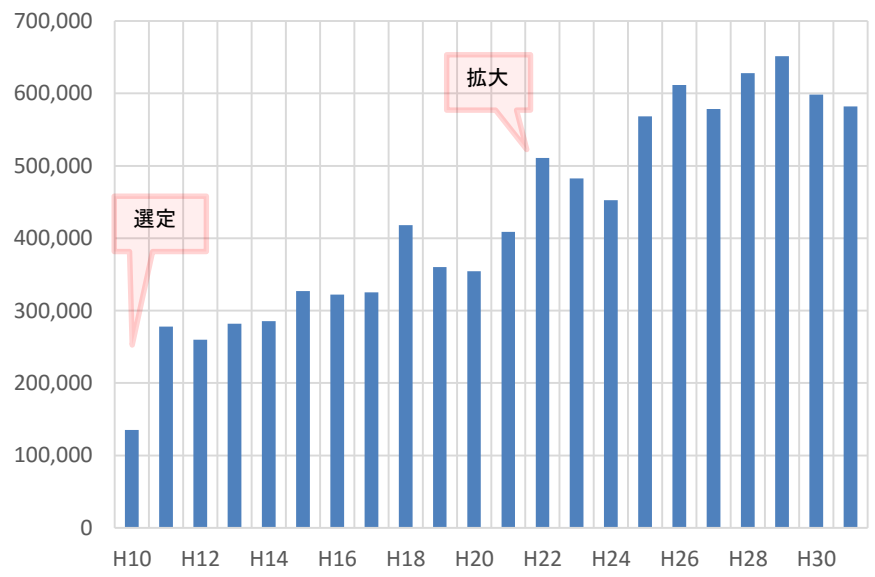
(4) 保存地区の活用とまちづくり

・空き家を活用した店舗の増加
にぎわいのある商店街づくり事業による新規店舗の増加
伝建補助金を活用して、修理した空き家に店舗を構え移住・定住した例もある。



・イベント等伝建地区のにぎわい創出による観光客の増加

観光客数の伸び(伝建地区)



伝建地区がモデルのゲーム(ひなビタ♪)による賑わい創出

倉吉市打吹玉川(鳥取県)

(5) 住民等の取組

- ・伝建修理報告会
- ・防災マップ
- ・流しびな、里見行列
- ・地元小・中学生による玉川清掃
- ・成徳小学校総合学習など



防災マップ



流しびな(4月)



里見行列(9月)



成徳小学校の3年生は総合学習で伝建地区について学習します。



伝建修理報告会



成徳小学校、東中学校による玉川清掃活動

